

「第34回地方委員会」を開催 大泉会長が退任、岡田副会長が会長代行に

6月11日（木）、大手門パルズにおいて連合山形第34回地方委員会が開催され、春闘の中間まとめと下期の主要活動計画についての議案が承認されました。

冒頭大泉会長は、今春闘の状況に触れ、「連合本部の集計では2年連続ベースアップの引き上げとなっているが、中小企業ではさほどの改善がなされておらず、大手との格差が拡大している。」などとし、交渉力を強くして格差是正していこうと訴えました。また、山形市長選挙について、推薦決定した梅津庸成氏をオール山形の一員として、全力で支援していこうと訴えました。

大泉会長が任期途中に退任されることから、会長代行に岡田新一副会長（自治労）が選出され、今年11月5日開催予定の第28回定期大会まで、会長代行としての任に就くこととなりました。

議事終了後、地方委員会開催前に行われた第7回執行委員会で、山形市長選（9月13日投票）に出馬予定の梅津庸成氏を推薦決定したことが報告され、梅津氏が紹介され決意を語りました。

地方委員会の最後に、労働者保護ルール改悪断固阻止への取り組みの強化をはじめ、下期の取り組みを確実に実行し、山形市長選挙に勝利していこうとする特別決議を採択し、岡田新一会長代行の「団結ガンバロー」で締めくくりました。



岡田会長代行によるガンバロー三唱



決意表明する梅津庸成氏

【地方委員からの発言】

●渡邊特別地方委員（青年委員会）

- 開催予定の「ボウリング大会&ビアガーデン交流会」および「青年交流集会」への積極的な参加をお願いしたい。



●中村地方委員（自治労）

- 労働者保護ルール改悪阻止のための更なる行動を積極的に実施してほしい。
- 集团的自衛権行使に向けた安全保障関連法案阻止に向けた運動を進めてほしい。
- 山形市長選挙において梅津ようせい氏を絶対当選させ、来年の参議院選、再来年の県知事選につなげていかなければならない。家族、知人、友人、親戚に声掛けする取り組みを強化してほしい。



●船山地方委員（自治労）

- 2年後に人事評価制度を各自治体で実施することを義

務付ける法改正がされた。相対評価によって昇給や賃金等に反映していくことが予想される。支援をお願いしたい。

- 自治体における臨時雇い職員の比率が大きくなっているが、任用としての雇用のため、労働問題が発生している。対応するために非正規の組織化を進めていく必要があり、連合山形の協力をお願いしたい。



●小野地方委員（高教組）

- 18歳での投票権の付与について国会で決定されようとしているが、組合活動への影響が出るのではないかなど、高教組として非常に不安を抱えている。連合はどのように考え、対応していくのか。
- マイナンバー制度について、年金の情報漏えい問題もあり不安である。連合としてどう対応していくのか。
- 障がい者福祉施設は数も職員も不足しており、施設充実にの取り組みをお願いする。



山形市長選挙に 梅津ようせい氏を推薦決定！

任期満了に伴う山形市長選挙（2015年9月6日告示、9月13日投開票）に向けて、連合山形は、6月11日（木）に開催された第7回執行委員会で、新人の梅津庸成氏を推薦することを決定しました。連合山形は、梅津庸成氏より推薦要請があり、連合山形地域協議会四役会（6月8日開催）および連合山形政治センター（6月10日開催）の協議結果を受け、推薦を決定しました。

梅津庸成氏に対して、「①これまでの民主的な活動は、連合山形と良好な関係を構築できる候補者である。②市民を主役とした市政運営、政策の実行を任せられる候補者である。③一般社団法人山形県経済社会研究所の専務理事として、連合山形と連携をはかってきた。」との実績と評価をし、これまでの連合山形との連携、連合山形地域協議会幹事会および連合山形政治センターの協議結果を踏まえ、梅津庸成氏を連合山形「推薦」とすることに決定したものです。

梅津庸成氏は、48歳。現在、山形県行政書士会山形支部幹事・山形県防災士会会長・日本防災士会理事・東北福祉大学特任講師。

略 歴	
S42. 2	山形市印役町生まれ 蔵王一小、蔵王一中出身、山形東高卒業
H 2	慶應義塾大学法学部卒業 防衛省（庁）入省
H 5～6	米国ジョージ・ワシントン大学ガストン・シグール東アジア研究センター（ワシントンDC） 客員研究員
H22～22	外務省軍縮不拡散・科学部生物・化学兵器禁止条約室長
H22. 7	参院選山形選挙区に出馬 山形市で52,972人の票を獲得
H22. 11	農林水産大臣秘書官（政務）
H25. 1～	行政書士梅津ようせい事務所を開設

“山形で生まれ、山形で育つ”
オール山形!! 梅津ようせい
必勝に向けがんばろう!

7月4日、事務所開きで決意を述べる
梅津ようせい氏



労働者派遣法改正案が衆議院可決

—“生涯派遣で低賃金”の派遣労働者が拡大へ—

6月19日、労働者派遣法改正法案が、十分な審議が尽くされないままに衆議院本会議において可決されました。審議においても、直接雇用化などの「雇用安定措置」の実効性が全くないことなど問題点が次々と明らかになってきたにもかかわらず可決され、“生涯派遣で低賃金”の派遣労働者を拡大させるとともに、派遣労働者の雇用不安を増大させる内容となりました。3年毎に人を入れ替え続けられ、派遣社員を無期限に使い続けられるようになり、派遣社員でずっと仕事を回すことになるため、派遣労働者の拡大が予想されます。

連合山形は、労働者保護ルールの改悪に反対し、労働者派遣法改悪阻止のために集会や街頭宣伝活動などを通じて市民への周知をしてきました。今後も、参議院における労働者派遣法改正法案の徹底審議を求め、同法案を廃案にすべく取り組みを一層強化していきます。また、過労死を助長するような労働基準法の改悪についても強く反対していきましょう。



労働者派遣法改悪反対を訴える岡田会長代行

最賃の大幅引上げを求め、山形労働局に要請

「最賃、もっと上げて！」3万813筆の署名を提出



要請書と署名を提出する岡田会長代行

7月3日、連合山形は、2015年度山形地方最低賃金審議会の審議開始を前に、山形県最低賃金の実効ある水準への改善をはかるため、山形労働局に要請行動を行いました。

岡田新一連合山形会長代行より、要請書が石澤労働基準監督課長に手交され、6月末までに寄せられた3万813筆の「最低賃金の大幅引き上げを求める」署名を提出しました。要請は、①山形県の地域別最低賃金を早期に800円へ引き上げること。②基幹的労働者にふさわしい特定（産別）最低賃金の水準を確保すること。③使用者側に対し、最低賃金法の遵守を徹底すること、の3項目。

昨年の審議会において、山形県の最低賃金を15円引き上げることが決定し、現在、最低賃金は680円。しかし、連合が試算する山形県における単身者の最低生計費は、時給にして900円で、まだ220円も足りません。2010年の「雇用戦略対話」*において、2020年までの目標として「できる限り早期に全国最低800円を確保し、景気状況に配慮しつつ、全国平均1000円を目指すこと」と合意しています。まず、早期に800円に引き上げ、生活できる賃金にしていかなければなりません。みなさんの声を広げていきましょう。

*「雇用戦略対話」とは

緊急雇用対策（2009年10月23日緊急雇用対策本部決定）に基づき、雇用戦略に関する重要事項について、内閣総理大臣の主導の下で、労働界・産業界を始め各界のリーダーや有識者が参加し、意見交換と合意形成を図ることを目的として、設置されました。

女性委員会が山形労働局雇用均等室へ要請 —働く女性の活躍促進に関する要請—



要請書を提出する大沼委員長

連合山形女性委員会（大沼香絵委員長）は、6月11日（木）山形労働局雇用均等室に対して、「働く女性の活躍促進に関する要請」を提出しました。

大沼委員長より青山雄一雇用均等室長に要請書を手渡し、要請事項の実現に向けて趣旨を説明しました。パート労働者の処遇改善を目的とした「改正パートタイム労働法」、4月1日に施行された、男性が仕事と育児を両立しながら働ける環境整備を促す「改正次世代育成支援対策推進法」など9項目の要請内容となっており、連合としても雇用均等室と連携をはかりつつ労働者の処遇改善促進に努めることを伝えました。

連合山形 「女性のための全国一斉労働相談」



6月11日（木）-12日（金）、連合山形「女性のための全国一斉労働相談」を実施しました。

連合山形事務局において「フリーダイヤル（0120-154-052）」による相談で、連合山形、連合山形地域協議会の女性委員会役員と、アドバイザー、連合山形事務局が、午前10時から午後7時まで相談に対応しました。受付開始の10時には、早速相談の電話が鳴り、深刻な相談が寄せられました。

昨年1年間に連合山形に寄せられた労働相談件数は302件。うち、女性からの相談が137件でした。女性からの相談が一番多かったのが、セクハラ、パワハラ、マタハラなどの差別関係35件で、女性からの相談の26%を占めています。

6月11-12日の2日間に
おける相談件数は17件で、
「上司が、離婚した理由をしつこく聞いてくる」「日曜日に休日出勤するように言われたが、保育園が休みで子どもを預けるところがなく断ると嫌味を言われる」など、セクハラ、パワハラ、マタハラに関する相談が最も多く、10件寄せられています。



連合東北ブロック 「男女平等フォーラム」が山形県で開催

6月26日（金）～27日（土）の2日間、「連合東北ブロック男女平等参画推進フォーラム」が天童市の天童ホテルを会場に開催され、東北各県より101名が参加されました。

1日目は、連合本部の南部副事務局長より「男女平等参画の推進～重要性と課題～」と題して、政府が掲げる「女性の活躍推進」についての連合としての考えや、連合がめざす男女平等社会の推進について提起され、次いで、NPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之さんによる「仕事も家庭も、よくばろう！～脱“不機嫌な職場、不機嫌な家庭”～」と題して、子育て経験や経営者、PTA、NPOの経験から、「イクボス」についての講演がされました。

2日目は、「職場で実践！ビジネスマナー～あなたは何型？自分を活かすプレゼンテクニック法～」と題して、オフィス・ケイ代表の三沢佳代さんからロールプレイによる実践的な講演とグループディスカッションなどが行われました。

参加者からは、「大変有意義だった」「大変勉強になった」「開催県の連合山形のおもてなしありがとう」などの声。来年は福島県での開催となります。



安全で健康に働くことができる職場にしよう！

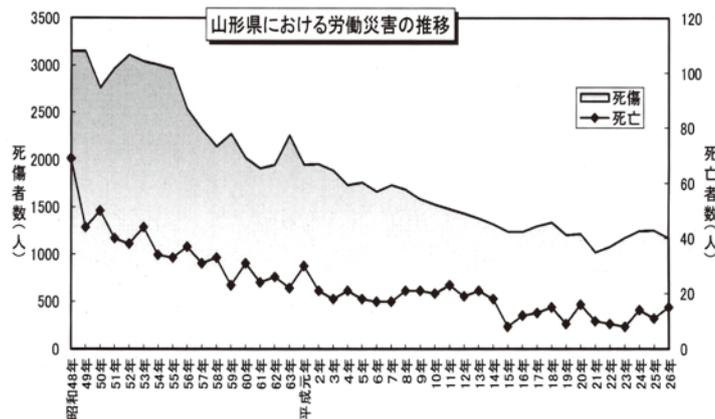
— 労災防止対策の強化と労働者の健康確保を —

山形県の労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、長期的に減少傾向となっていますが、2010年から2013年までは連続して増加していました。2014年では、前年比-6.5%と5年ぶりに死傷者数が減少となりました。しかし、死亡者は前年より4名多く、15名の方が労災で亡くなっています。

もっとも件数が多かったのは「製造業」の299件ですが、近年、「小売業」における死亡災害が連続発生しており、また、「社会福祉施設」ではこの10年間で倍増し、過去最高の死傷者数となっています。

2014年6月には労働安全衛生法が約9年ぶりに改正され、2016年6月にかけて順次施行されますが、「ストレスチェック」が50人以上の事業場に義務化されました。労働組合は、ストレスチェックをもとに労使が協議しあい、メンタルヘルス不調の未然防止のみならず、ストレス状況を改善する職場づくりを推進しましょう。

10月1日～12月31日まで、「山形ゼロ災3か月運動・2015」が実施されます。すべての事業場において労働災害を発生させないために、職場の安全衛生活動を強化しましょう。



安全衛生専門委員による現場視察

連合 平和行動

連合は平和運動として、核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動、北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動などに取り組んでいます。そのため、連合は6月～9月を平和行動月間として、沖縄、広島、長崎、根室での平和行動を基本に、取り組みを進めています。

6月23日～25日にかけて行われた「平和行動 in 沖縄」には、連合山形から女性委員会の大沼委員長と秋葉副委員長が参加されました。



2015平和行動 in 沖縄に参加して

連合山形女性委員会委員長 **大沼 香絵** (JAM)

戦後70年の節目の年、「2015平和行動 in 沖縄」に参加し改めて戦争と平和について考えさせられました。新聞やテレビの報道で知っていた普天間・嘉手納の基地は、実際に見ると何とも言えない気持ちになりました。今まで何も分かっていなかった、また沖縄県民の気持ちに寄り添うことが無かったと気づいたからです。

普天間基地を見下ろせる嘉数高台に15時過ぎに到着した時、ちょうどお帰りの時間だったのか、保育園児の楽しげな笑い声が聞こえてきました。その上空には、ヘリコプターやオスプレイが次々と現れてはどこかへ消えて行く。私の日常とあまりにもかけ離れている沖縄の現状に、「この未来ある子供達のために私は一体何が出来るのだろうか?」と考えさせられました。今の私に出来ることは、今回の体験で得た戦争の悲惨さと平和の素晴らしさを一人でも多くの人に伝える事、決して忘れない事、いつまでも沖縄に関心を持ち続ける事。それが今の私に出来る事だと感じました。

帰りの飛行機で沖縄の真っ青な空、エメラルドグリーン穏やかな海を眺めながら、70年前に亡くなられた多くの尊い命が天国で心安らかに、また戦争の惨禍を生き抜いた沖縄のおじいとおばあが心穏やかに元気で長生き出来ますように、願わずにはいませんでした。

連合山形女性委員会副委員長 **秋葉奈緒子** (交通労連)

6月23日、太平洋戦争、日本最大の地上戦とされる沖縄戦。その組織的戦闘が終結したとされる日。沖縄では戦争末期において激しい地上戦が行われ20万人以

上の尊い命が犠牲となりました。中でも一般住民の死者は軍人の死者をはるかに上回り、沖縄県民の4人に1人が犠牲になるという甚大かつ悲惨を極めるものでした。二度と戦いを起こさないことを誓い、人類の平和を求めるとともに、戦没者を追悼する「慰霊の日」を迎えました。

この日、「在日米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本的見直し」を求め、「次世代への継承」をもって新たな平和運動をスタートさせる、「2015平和行動 in 沖縄」に参加させていただきました。ピースフィールドワークでは、連合沖縄の方々のおもてなしとご案内のもと、戦争の遺構を目にし、事実を知ることにより、報道などで得た自分のわずかな知識に加え、現実を知ることが出来ました。全国に米軍が自由使用する専用施設が117カ所あるが、その74.8%が沖縄県に集中。住宅が建ち並ぶ中にある普天間基地や嘉手納基地、多くの沖縄の人々の生活が営まれている頭上を戦闘機が飛び交っている。普天間代替地の建設予定地をされている名護市・辺野古を瀬高の浜から見た際には、国際保護獣・ジュゴンの生息地になっているきれいな海（ちゅら海）でした。埋め立て、海上基地をつくる計画が着々と進められていました。今だ多くの方が眠るチビチリガマ（洞窟）で哀悼の意を捧げ、沖縄の人々の心に感じる苦しみ、切なる思いが伝わり、私も胸がしめつけられました。

戦後70年、今もなお人々の戦いは終わってはいませんでした。今は平和な世の中なのでしょうが……。世界に問います。この言葉が突き刺さります。国民みんなが考えていかなくはならないと思いました。

「平和の語り部」鑑賞会と「原爆パネル展」 開催のお知らせ

1945年8月に広島、長崎に原子爆弾が投下され、二十数万人の尊い命が奪われました。その後も多くの被爆者が放射線障害に苦しめられ後世にも影響を及ぼしています。1996年に国際司法裁判所は核兵器による威圧と使用は国際法に違反すると国際社会に核兵器廃絶を促しました。しかしながら、核軍縮と核拡散防止を進める国際的枠組みは進まず、世界には未だ2万7千発も核爆弾が存在しています。

連合は「ノーモア・ヒロシマ」、「ノーモア・ナガサキ」の声を全世界に届け、核兵器の廃絶と恒久平和を実現するため、そして被爆者援護施策を充実するため各団体とも連携して強力に運動を展開しています。連合山形においても、戦後70年を迎え、「次世代の継承」をテーマに掲げ、大人だけでなく子どもたちにも広げた平和運動を行います。

【原爆パネル展の開催】

- 期 間 2015年8月7日（金）～14日（金）
- 場 所 大手門パルズ1F エレベーターホールおよび3階展示場
- パネル枚数 30枚程度

【連合山形「平和の語り部」鑑賞会の開催】

沖縄、広島、長崎、根室（北方領土）の語り部の方の体験や、若者へのメッセージが収録されたDVD鑑賞会です。同日から開催される「原爆パネル展」を見ていただきながら、戦後70年を迎え恒久平和について学習していただきたいと思います。

- 日 時 2015年8月7日（金）10：30～12：30
- 場 所 大手門パルズ3F「葵」



月刊連合を読もう!

働く人の視点から、いま社会で起きていることや、連合が力を入れている運動などを分かりやすく解説します。

毎月25日発行
年間購読料：4,320円（送料込・税込）



購読のお申し込みは連合HPへ

東北ろうきん

サマーキャンペーン 2015

キャンペーン期間 2015年6月1日(月)～2015年7月31日(金)

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)
をお預入の方は店頭表示金利に
年0.10%を上乗せします。

店頭表示金利に
金利上乘せ

年0.10%

※「新規預入れ」のみ、「増額預入れ」は対象外です。※個人のお客様が対象となります。※「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。※窓口での預入れに限ります。※上乗せ金利は、「初回満期日」までとなります。

下記対象取引のいずれかをご契約いただいた方に、

もれなく

サンスター防災オーラルケアセットをプレゼント!



- 対象取引
- ①定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え)
 - ②積立型預金(財形・エース預金)の年間積立額5万円以上の新規契約または3万円以上の増額契約
 - ③マイプランの新規ご契約
 - ④無担保ローン4商品(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の新規ご契約

※ATMやろうきんダイレクトでの取引も対象となります。(店頭でのお申し出が必要となります。)※キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。※防災オーラルケアセットのプレゼントは「1お取引項目につきお一人様1つ」となります。※対象の商品概要については、店頭にて説明書をご用意しております。※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

ろうきんの夏へ。

ようこそ、



2015年7月1日現在

くわしくはお近くのろうきん窓口、
またはフリーダイヤルまでどうぞ。



0120-1919-62

東北労働金庫山形県本部
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

手頃な掛金で、火災、地震、風水害、雷害など幅広くカバー



全労済の

住まいる共済

【新】火災共済・【新】自然災害共済



掛金がお手頃な
「マンション専用プラン」を新設しました!



地震保障をさらに充実。
大規模半壊時の保障を手厚くしました!
※新設自然災害共済による損害賠償拡大



3つの特約を新設。さらに
幅広い安心をご提供します!
・任人賠償責任共済・競売損害保障特約・盗難保障特約

※安価で幅広い保障がある。全労済は、新築を目的としない保障の申し込みにして、共有者を含め、社会員の皆様の安心と強みとなる事を大切にしています。掛金を定めていただく事で、各世帯の生活の安心と強みとなる、各種共済がご利用いただけます。

詳しくは全労済のホームページへ。 [全労済](#) [検索](#)

ZENROSAI 全労済
0615B014

新しい住まいの保障、
新登場。



保障のことなら

全労済山形県本部
(山形県勤労者共済生活協同組合)

〒990-0827 山形市城南町1-18-22
TEL 023-646-4666(代)